

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSW ニュース 10月号

2016年10月1日発行

事務局：大浜第一病院

〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 - 5171

FAX (098) 864 - 1874

E-mail t-matayosi@ns.omotokai.jp

編集：金城 大樹（豊見城中央病院）

## 第 22 回日本腹膜透析医学会 参加報告

豊見城中央病院 仲地 貴弘/東門 麻里子

去る 9 月 24 日（土）25 日（日）に北海道札幌市にて第 22 回日本腹膜透析医学会が開催されました。当院は腎不全サポート外来、通称「そらまめ外来」に多職種チームで患者支援に力を入れており、そのチームの中に MSW も参加しております。毎週金曜日の外来日には診療前のカンファレンスから始まり患者さんの意思決定支援に視点を置きチームで患者支援を行っています。今回、当院の東門 MSW も「腎不全サポート外来における MSW の役割～患者の意思決定支援～」と題してポスター発表を行いました。発表の多くは医師、看護師が多かったため、MSW が積極的に介入していることにとっても大きな反応がありました。詳しい内容が知りたい方は、ぜひ豊見城中央病院、東門 MSW までお問い合わせ下さい。

学会のメインテーマは「PD はなぜ増えないのか？～すべての患者に PD の恩恵を～」であり日本の腎代替療法は血液透析が中心で、腹膜透析の導入率はわずか 7%程度、また実際に透析患者全体に占める割合はわずか 2%台とかなり低い水準である。腹膜透析の有益性は医学的にも認められているが様々な問題を抱えている。まずは医療者の中で腹膜透析療法自体があまり説明されておらず、末期腎不全患者に対し療法選択の機会が与えられていないことが問題としてあげられる。また当院も実感していることであるが、高齢者の場合腹膜透析を導入したことにより転院先が限定されてしまう、自宅退院が困難となる、介護保険サービスの利用が限定されてしまうといった問題も発生している。さらに高齢化という社会の変化が起こる中、血液透析ではなく、家族や介護者による腹膜透析手技のサポートを用いる AssistedPD も増加している。これまで透析といえば医療機関で週に 3 日、数時間をかけて行うのが主流であったが、これからは誰かのサポートを受けて自宅や回復期・慢性期医療機関、介護施設での腹膜透析患者も増加していくと思われる。そうした場合に腹膜透析患者を地域で支援する体制がなければ急性期病院での長期入院や介護保険サービスが受けられないといったことが起こることが予想される。退院支援という視点で考えた場合、腎代替療法を選択する患者さんや患者さんを取り巻く環境に対して MSW が積極的に支援していくことは重要だと感じた。

当院の事例で言えば法人外の訪問看護ステーションが各事業所で勉強会を実施後、実際に患者さんを受け入れてくれた事例や転院を前提に勉強会を開催してい

### CONTENTS

第 22 回日本腹膜透析医学会	1
めだかのホームルーム開催報告	2
新入会員紹介	3
研修部からのお知らせ	4
運営委員会議事録	4
コラム	6
編集後記	7

る病院などがある。多くの医療機関や介護施設で腹膜透析患者が当たり前にサービスを受けられるよう、これからも地域の医療介護連携に力を入れていきたいと改めて感じた学会であった。

今回の学会では当院から医師、透析室看護師、病棟看護師、心理士、薬剤師、MSWによる発表プラス法人内の南部病院、連携した訪問看護ステーションなど当院が関係した発表が11演題もありました！どの発表も患者さんの幸せを願う素敵な発表でした。来年は私もはっぴょ…！？

天候にも恵まれた北海道の地で、チーム沖縄による決起大会（飲み会）も盛大に行われ、北の大地の美味しい恵みを堪能することができました。



---

## めだかのホームルーム開催報告

報告者：大浜第一病院 當銘 由香

---

今年度から当協会の自主勉強会の1つとして「めだかのホームルーム」が開講となりました。この会は、「めだかの学校」（概ね3年未満の初任者対象）を卒業したものの「めだかの放課後」（概ね5年以上の中堅者対象）や「OGSV」（10年以上のベテラン対象）へ参加するには少し気兼ねする方、若しくは家庭や子育てなど勉強はしたいが中々出来ない環境にある方等を広く対象としています。まず6月に参加者を募り、この勉強会で学びたいことを確認。毎回の事例検討と今更聞きにくいがよくわかっていない制度の事、各病院の近況報告などを行う予定で年間スケジュールを作成しました。

記念すべき第1回の集まりは7月7日（なんと七夕！！ロマンチックですよね・・・）。

沖縄赤十字病院患者図書館にてホームルーム内での事例検討のルールと基本的な書き方について皆で確認し、大浜第一病院の玉城さんの事例検討を行いました。

第2回は9月1日に南部徳洲会病院医局会議室にて開催。

退院調整加算の各医療機関での取り組みと現状の情報交換を行い、年金制度について各自調べた情報を提供し合い、小祿病院の新城さんの事例検討を行いました。

第1回、第2回的事例は共に、患者・家族と医療従事者との意見の相違、支援者としてのMSWのアイデンティティーとジレンマ。支援場面でのポジショニング、価値・倫理などの視点からケースに関わることの重要性が再確認できた事例でした。参加者全員がサポータータイプに意見を出し合い、事例提供者の玉城さん、新城さんは自分のやってきた支援に少し自身が持ったことと思います。

事例検討はSWとして振り返りも含めとても重要な機会ですが、ホームルームでは仕事と家庭の両立や

新人ではない仕事上の立場などで事前準備に時間がかけられなくても事例検討が出来るよう、とてもシンプルなルールとなっていて、過去2回の事例提供者はいずれも当日の業務終了後、参加直前に事例を作成しています。

沖縄赤十字病院の宮国さんはヨガの先生。最後に座ったままできるヨガを教えてもらい身も心もリフレッシュする時間が時々あります。

現在の参加メンバーの経験年数は4年～16年と幅広いですが、日々の仕事を一瞬忘れ、それこそ学生のホームルームでの一場面のような、わいわいガヤガヤと話が尽きない時間を過ごしています。

「めだかのホームルーム」の参加はあくまでも自主参加制。名簿や連絡網などは一切なく、飛び入りの参加も大歓迎。いつでも勉強したいと思ったあなたの参加をお待ちしています。

ちなみに・・・

次回は11月2日(木) 19時～沖縄協同病院3階講堂にて開催予定です。

---

## ☆ 新入会員紹介 ☆

ハートライフ病院 佐久間 大知

はじめまして。平成28年9月よりハートライフ病院・地域連携室に入職しました、佐久間 大知と申します。出身は兵庫県の淡路島で、今年3月に琉球リハビリテーション学院を卒業し社会福祉士を取得しました。

私自身、相談員の経験はなく、これから出会う患者さんや日々の業務すべてが初めてになります。ソーシャルワーカーとしての視点をしっかり持ち、1つ1つの面接や業務を大切に積み重ねていきたいと思っております。

又、みなさんとの繋がりやMSWとしての資質向上のために、研修や勉強会に積極的に参加していきたいと思っておりますので、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

## 研修部だより 平成28年10月の予定

初任者研修

— 4回目 —

日時：平成28年10月29日(土) 13:30 受付 14:00 開始

### 会場：沖縄リハビリテーションセンター病院 8階 会議室

内容：『チーム医療におけるMSWの役割』

～なぜ、チーム（多職種協同）が必要か。

その中でMSWの役割を学びます～

講師：又吉智子（大浜第一病院）

『退院援助①・②』

～患者（家族）の思いを大事にしながら、

退院援助に必要な視点・知識・方法について学びます～

講師：伊禮智則（那覇市立病院）

角山信司（浦添総合病院）

### めだかの学校 定例活動

日時：10月19日（水） 19：00～

会場：豊見城中央病院

内容：食支援室の働きについて

※詳細は、地域の連絡係から案内があると思います！

### めだかの放課後

日時：10月20日（木） 19：00～

会場：中頭病院

内容：10/8・9に行われる「入退院支援連携デザイン事業研修会」の振り返り

### めだかのホームルーム

\*10月はお休み

### ●OGSV●

日時：10月12日（水） 18：30～20：00

場所：那覇市立病院

内容：事例検討（予定）

初任者研修 講師予演会 退院援助①・② 伊禮さん  
角山さん

## 平成28年8・9月運営委員会議事録

### 平成28年9月運営委員会議事録

開催日時：2016（平成28）年9月12日（月）18：45～19：58

出席者：樋口、當銘（司会）、石郷岡、又吉、伊禮、嘉村、仲地、安慶名、奥平、島袋（記録）

場 所：那覇市立病院

#### ■初任者研修

日 時：2016（平成28）年9月17日（土）18：00～21：00

場 所：沖縄リハビリテーション病院 8階会議堂

内 容：医療機関機能別専門知識

講 師：急性期）泰克之 回復期）安慶名真樹 ホスピス）長原野 精神科）知花勉  
懇親会予定

日 時：2016（平成28）年10月29日（土）14：00～

場 所：沖縄リハビリテーション病院 8階会議堂

内 容：チーム医療におけるMSWの役割

講 師：又吉智子（大浜第一病院）

■ めだかの学校

日 時：2016（平成28）年10月19日（水）19：00～21:00

場 所：豊見城中央病院

内 容：食支援室のはたらきについて

■ めだかの放課後

日 時：2016（平成28）年10月20日（木）19：00～21:00

場 所：中頭病院

内 容：未定

11月に事例検討ができれば

■ めだかのホームルーム

10月はお休み

■ OGSV

日 時：2016（平成28）年10月12日（水）18：30～20:00

場 所：那覇市立病院（4階 会議室）

内 容：認定医療社会福祉士 レポート報告会 角山さん

初任者研修 講師予演会 退院援助①② 伊禮さん、角山さん

めだかの学校の事例検討

■ 宿泊研修（50人定員）

平成28年11月29日（土）14時～18時

11月20日（日）9時～12時

場所：手作りあいあいファーム 2階セミナー室

テーマ「医療ソーシャルワーカーの自己覚知からソーシャルワーカーとしての専門的職業的自己覚知  
～」

広報部：仲地（豊見城中央病院）

■MSWニュース・・・10月号担当：豊見城中央病院 金城

（原稿依頼済み）

■ホームページについて 2016.9.9 業者打ち合わせ・・・バナー等の人物画像の撤去可。

10月に載せ替え予定。

入退院支援連携デザイン事業のバナーを設置し、アップロード予定。

課題は、各医療機関ホームページへのリンクやペーパーレス化など。

事務局：當銘

広報紙郵送費用の検討。

新規加入者1人。異動1人。

会長：樋口（那覇市立病院）

■ 入退院支援連携デザイン事業

（１）専門職リーダー養成研修

日 時：２０１６（平成２８）年１０月８日（土）～１０月９日（日）

場 所：那覇市立病院（３階 講堂）

講 師：関建久氏（北海道医療ソーシャルワーカー協会 会長）

富樫八郎（沖縄大学 教授）

非会員医療機関への広報が必要。

事前課題あり。

（２）実務者研修（予定）

- ・ 12月4日（日）宮古地区 県宮古庁舎講堂
- ・ 1月29日（日）八重山地区 県八重山支庁大会議室
- ・ 2月4日（土）中部地区 嘉手納町中央公民館
- ・ 3月5日（日）北部地区 名護市役所羽地支所
- ・ 3月18日（土）南部地区 ゆいホール

開始までに連携デザインの素案の提示ができるように、準備が必要。

次回理事会：10月17日（月）18：30～司会：樋口 書記：伊禮 連絡係：安慶名

---

## コラム～「A先生の思惑」

---

今年から当院赴任のA先生。

A先生いわく『典型的なB型気質』。

赴任当初から「MSWへ優しくしないよ」と宣言され、日々奮闘しています。

毎週行われるカンファレンスでA先生からの質問攻め。

「入院前ADLはどうなのだ」「ゴールはどこにするのだ」「介護施設に調整して入所費用支払えるのか」etc…

その都度、説明するも A 先生が納得しなければ何度も同じ質問をされ続け、リハスタッフ・看護師からの同情の視線で A 先生に対する苦手意識が増していきました。

後日、病棟の飲み会での A 先生の話。

「MSW に優しくしたら成長しないでしょ。カンファレンスで質問攻めをするのは看護師・リハスタッフへもっと積極的に患者へ関わり問題点に気づいてほしいから。だから MSW は申し訳ないけど犠牲になってもらう」

他のアプローチ方法はなかったのか A 先生…

しかし振り返った時、質問攻めにあう事で詳細まで看護師・リハスタッフと情報収集・共有するよう意識しはじめていたと気づきました。

今後も A 先生を筆頭に看護師・リハスタッフを巻き込みながら協議していこうと思います。

**沖縄県医療ソーシャルワーカー協会のホームページ**  
**http://www.msw-oaswhs.jp/**

## 編集後記

10 月に入り、早速台風 18 号が接近！！今回の台風は沖縄本島に直撃しそうな雰囲気です。今年の台風には度々振り回されておりますが、皆様油断せず、気をつけて台風対策頑張ってください。

今回、初めて MSW ニュースの編集を担当させて頂きました。わたくしが大変に不慣れな中、原稿を担当していただいた方にはたくさんご迷惑おかけしたかと思えます。快く引き受けて頂き、本当にありがとうございました。